

広報 富士がわ

No. 383

発行/富士川町 総務課

〒421-33 富士川町岩淵121

☎81-1111

6月号

●平成5年6月5日発行



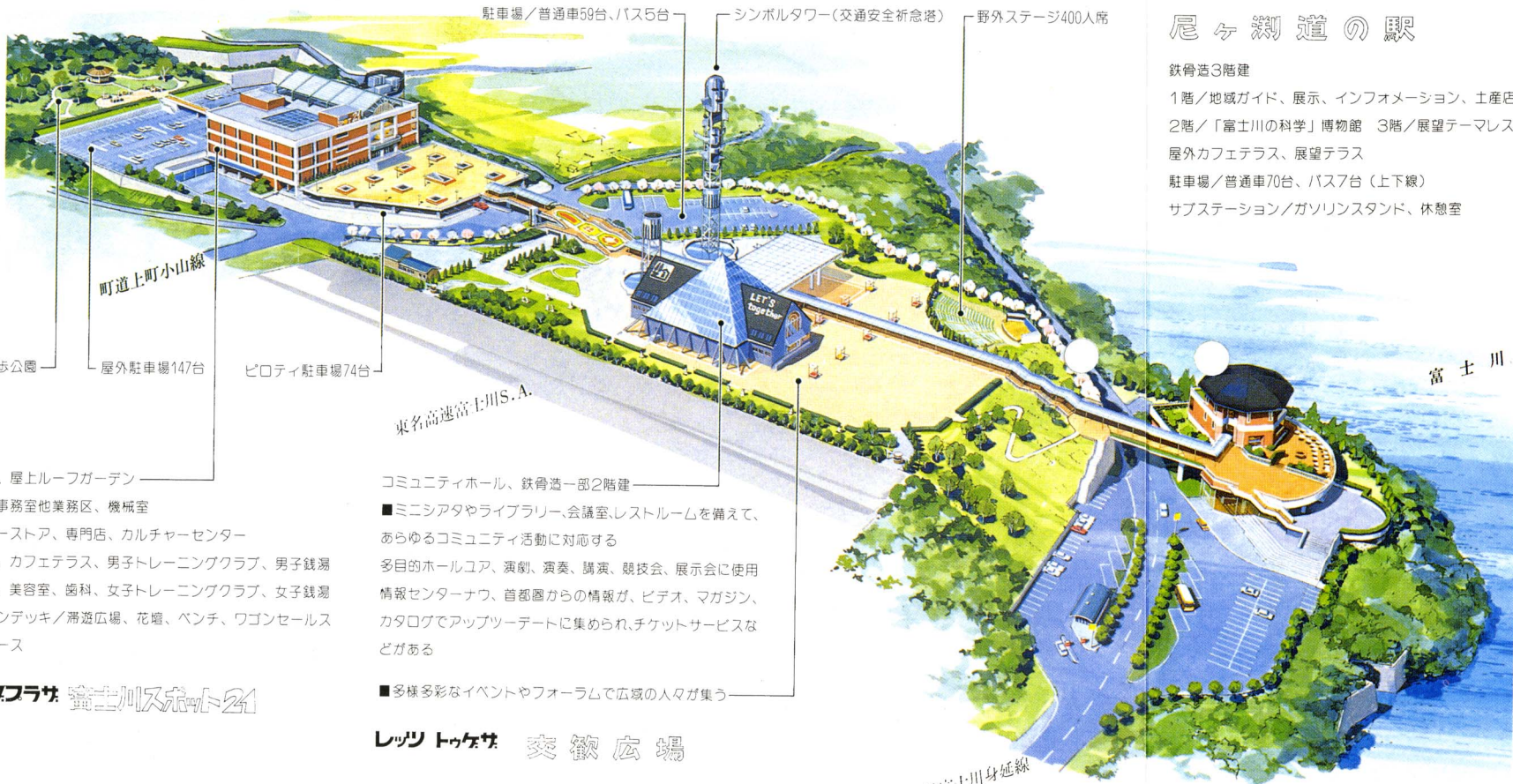
■野田山自然復元宣言『雑木林に戻そう。そのために昔あった広葉樹を植えよう。昆虫・小動物・鳥が戻ってこれるよう優しく見守ろう。自然を学習する場、自然保護思想の実践の場として謎と冒険に満ちた子どもたちの秘密基地を建設しよう。針葉樹林は木材資源として管理、育成を徹底しよう。ナチュラルリスト（自然解説員）を育成しよう。』※5月16日、野田山健康緑地公園で、FBTコアスタッフが自然復元宣言と記念植樹（^{けやき} 欒）をしました。

町のメモ

平成5年6月1日現在	
人口	18,082人
増減	±0人
男	8,910人
女	9,172人
世帯数	4,972世帯
面積	30.92km ²



ニュータイプ・サー ビスエリアの創出……



尼ヶ渚道の駅

鉄骨造3階建
 1階/地域ガイド、展示、インフォメーション、土産店、カフェテリア
 2階/「富士川の科学」博物館 3階/展望テラス
 屋外カフェテラス、展望テラス
 駐車場/普通車70台、バス7台(上下線)
 サブステーション/ガソリンスタンド、休憩室

RC造4階建、屋上ルーフガーデン
 1階/倉庫、事務室他業務区、機械室
 2階/スーパーストア、専門店、カルチャーセンター
 3階/専門店、カフェテラス、男子トレーニングクラブ、男子銭湯
 4階/美術館、美容室、歯科、女子トレーニングクラブ、女子銭湯
 ペDESTリアンデッキ/滞遊広場、花壇、ベンチ、ワゴンセールス等の出店スペース

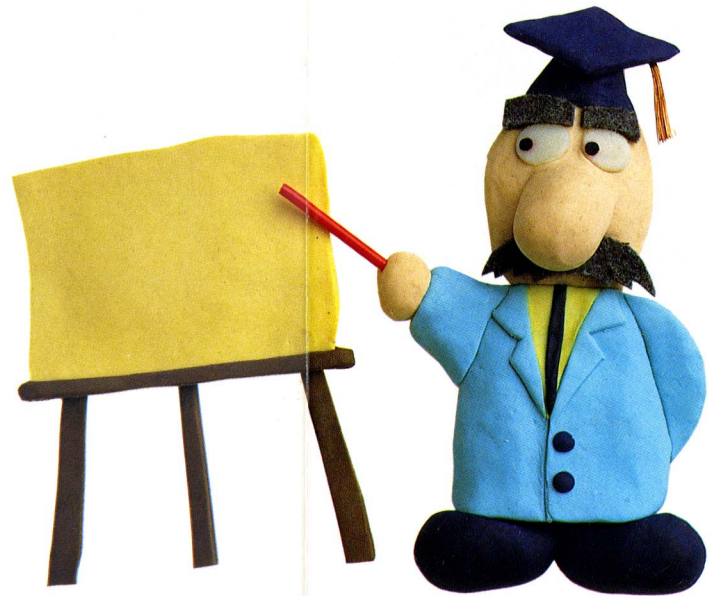
コミュニティホール、鉄骨造一部2階建
 ■ミニシアタやライブラリー、会議室、レストルームを備えて、あらゆるコミュニティ活動に対応する
 多目的ホールコア、演劇、演奏、講演、競技会、展示会に使用
 情報センターナウ、首都圏からの情報が、ビデオ、マガジン、カタログでアップトゥデートに集められ、チケットサービスなどがある
 ■多様なイベントやフォーラムで広域の人々が集う

ショッピングプラザ 富士川ストア24

レゾトウケサ 交歓広場

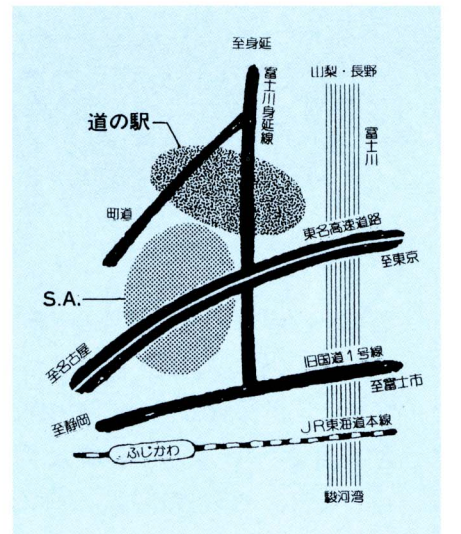
「道の駅の計画は？」

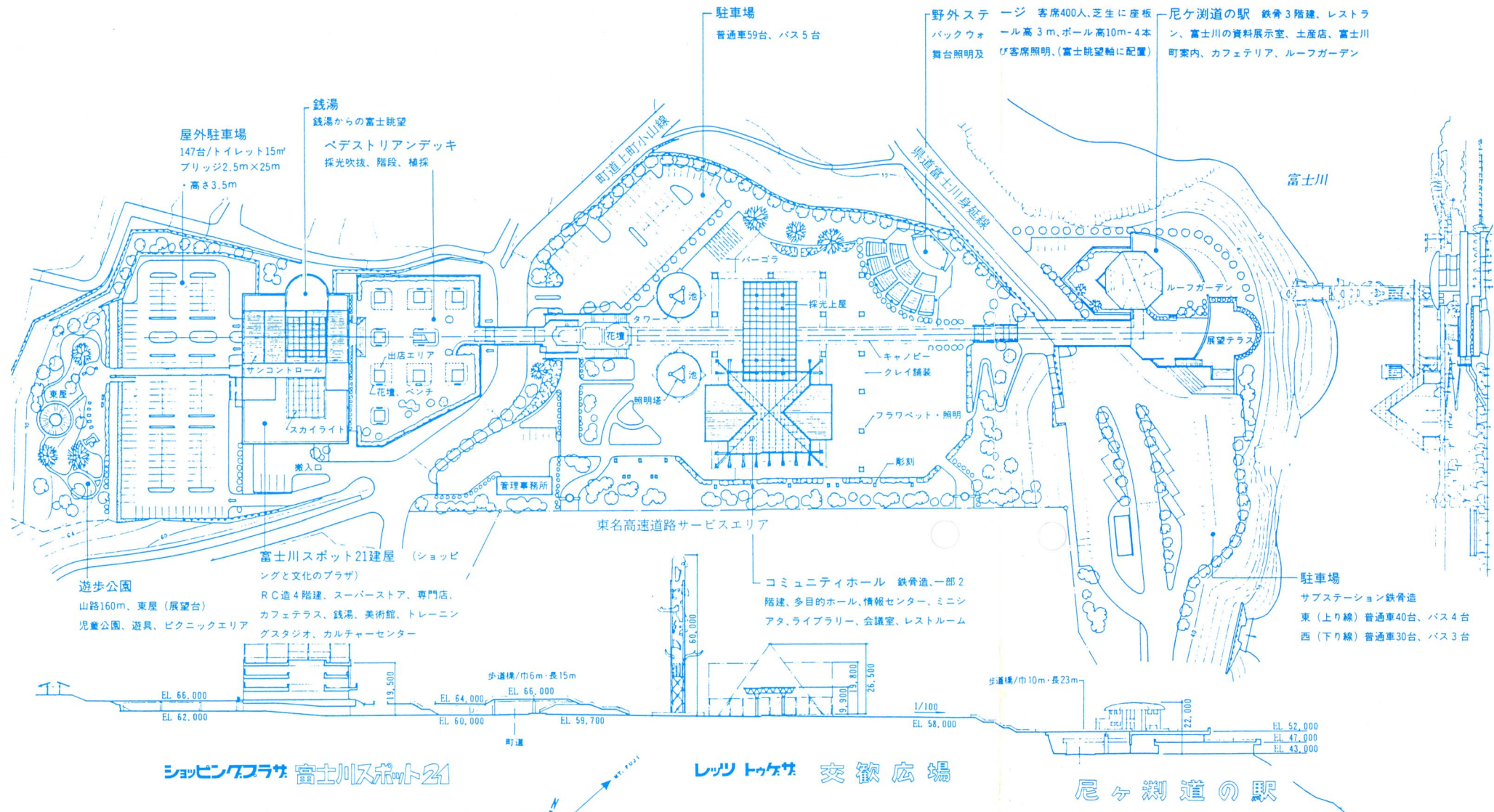
太郎 「道の駅」って何ですか？
 博士 「道の駅」とは、やさしく
 いうと一般道路のパーキングのこ
 とだよ。これまでの道路整備は交
 通の円滑な「流れ」に重点がおか
 れてきた。しかし、長距離ドライ
 ブや女性や高齢者のドライバーが
 増加してきたために、円滑な「流
 れ」を支えるためにも快適な「た
 まり」の空間の整備を進めていく
 ことが必要になってきたんだよ。
 太郎 「たまり」の空間？
 博士 駐車や休憩ができるにぎわ
 いの場のことだよ。一般道路にも、
 高速道路と同じように、安心して
 自由に立ち寄り、トイレを利用し
 たり休憩したりできるパーキング
 が求められているんだ。
 太郎 でも、それだけじゃあつま
 らないな？
 博士 「道の駅」は、休憩のため
 のパーキングであるとともに、地域
 の文化、歴史、特産品などを紹介
 する情報発信の場でもあるんだ。
 太郎 「道の駅」が全国各地にで
 きれば、ドライブがより安全で快
 適になるだけでなく、地域と道路
 を利用する人々の結びつきが一層
 深まりますね。ボクたちのまちに
 もできるといいな。
 博士 私たちのまちの「道の駅」
 は、富士川身延線と東名高速道路
 が交差する尼ヶ渚に計画されてい
 るんだよ。
 太郎 どんな施設が計画されてい
 るんですか？
 博士 富士川の科学博物館や展望
 レストラン、カフェテラスなどが
 計画されている。もちろんその中
 には特産品売場や休憩室、ガソリ
 ンスタンドもあるよ。
 太郎 すごくいですね。



「道の駅の計画が できましたネ。」

私たちのまちが計画している「道の駅」についてテレビや新聞でこのところたびたび報道されています。モータリゼーションの増加にともない、今、道路整備は「流れ」よりも快適な「たまり」の空間に目を向け始めました。
 「道の駅」は、自由時間を活用してドライブをするなど、生活に心の豊かさやゆとりを求める私たちのレジャー志向に対応するための施設です。





「サービスエリアの改良計画は？」

太郎 ところで、日本道路公団による東名富士川サービスエリアの改良計画があると聞きましたか？
博士 道路公団は、増大している交通量に対応するために、駐車場を拡張したり、これまでの施設を全面的に改良して、上り・下り専用のサービスエリアを新設することを計画しているんだよ。

太郎 すごいですね。
博士 ところが、この計画のままでは、ちっともよくないんだよ。何故ならいくら立派なサービスエリアでも、今までのようにに閉鎖的な施設じゃ広大な土地を占めるだけでプラスになる要素がないからだ。このため、まちは、改良されるサービスエリアに私たちが自

由に出入りでき、しかも高速道路を利用する人たちもまちの施設を利用できるように、オープンなサービスエリアにするように道路公団に対して要求しているんだよ。
太郎 まちの施設って？
博士 「道の駅」や、まちが計画している「ショッピングプラザ」だよ。
太郎 サービスエリアを核としたまちの活性化計画ですね。

「実現が、楽しみ

ですネ。」

「まちが活性化されますネ。」

太郎 サービスエリア周辺の整備が、ボクたちのまちの活性化にどのように結びつくんですか？
博士 まちが期待しているのは、町民の快適なアメニティ空間が創造されること、情報発信基地として、まちの独自性が確立されること、新たなビジネスが展開され、

経済的な効果を生み出すこと、比較的若い年齢層の雇用の場ができるということなんだ。
太郎 なるほど。ところで、今後、まちはどのようにして、この計画を実現していくんですか？

博士 まちがつくった計画は、あくまでもまちが県や道路公団に対して提示したものであって、すべて実現されるというものではないし、すべてをまちがおこなうわけではないんだよ。

太郎 じゃ誰がやるんですか？
博士 この計画は、平成五年度から始まった第十一次道路整備五ヶ年計画にもとづく、道路公団の富士川サービスエリア改良計画、県の富士川身延線改良計画、建設省の道の駅全国設置計画に、まち独自の地域活性化計画を盛り込んだものなんだ。だから、まちは今後、も計画の実現に向けて、県や道路公団にはたらきかけていくんだよ。
太郎 実現するといいですね。



私たちのまちは、かつて東は吉原宿、西は蒲原宿の中間にあり東海道の間宿として、また甲州三河岸との通船や、富士川の渡船役を江戸幕府から課されるなど、交通上とても重要な場所でした。しか

し、現代では日本の交通の大動脈といわれる鉄道や道路がまちを通っているにもかかわらず、そのほとんどの通過が止まっています。太郎君は、先日テレビで報道された、まちが計画したサービスエ

リア周辺の活性化計画に非常に興味をもちました。そして、交通とまちの発展について考えました。「渡船については、博士から詳しい話を聴いたけれど、じゃあ東海道ってどんな道だったんだろう？」

「二〇数年、国や県は東海道に関連した事業を積極的に推進しています。県内の市町村では金谷町、由比町、島田市などで東海道にスポットをあてた事業がおこなわれています。私たちのまちでも町制施行一〇〇周年・東海道制定四〇〇周年に向けて打合せ会をおこなうなど、間近に迫った二一世紀へ向けてのまちづくりを検討しています。」

「東海道とボクのまち！」

「岩淵村は東海道の間宿だよ。」

太郎 今月は東海道について話を聴かせてください。

博士 東海道は、江戸幕府が道路政策によって中央集権制を確立するために整備された道だ。

太郎 いつ頃のことですか？

博士 東海道の整備は、慶長六年（一六〇一）に始まっている。

太郎 じゃあ、岩淵村で渡船がお



■昔の面影を残す道（舟山町）

こなわれる前の年ですね。

博士 幕府は、主要街道の間宿に一定の人馬を常備するという伝馬

役を課していたんだけど、その中でも東海道は江戸と京都を結ぶ重要な街道だったから、五十三次と呼ばれる宿場の設備や機能は最も進んでいたんだよ。

太郎 岩淵村も宿場だったの？

博士 岩淵村は、東の吉原宿と西の蒲原宿の間宿だったんだよ。

「宿場と間宿の違いは？」

太郎 なあんだ。宿場じゃなかったんだ。

博士 だけど、岩淵村では富士川の渡船や甲州三河岸との通船がおこなわれていたので、宿場に劣らぬにぎわいだったんだよ。

太郎 宿場と間宿には、どこに違いがあったんですか？

「本陣と立場本陣の違いは？」

太郎 上町にあるのは本陣じゃないんですか。みんな本陣と呼んでいますよ。

博士 岩淵村の本陣は、通常、御本陣と呼ばれていたけれど、幕府が出した触書では本陣や脇本陣に対して立場本陣というように区別

博士 幕府は、宿場の繁栄を図るために、旅人の宿泊は宿場だけに制限していたんだ。間宿には、一時休息する程度の施設しか許可されていなかったんだよ。しかし、この制限を守らずに、間宿に旅人を宿泊させたりして、宿場との間にしばしば争いがあつたようだ。

博士 幕府は、宿場の繁栄を図るために、旅人の宿泊は宿場だけに制限していたんだ。間宿には、一時休息する程度の施設しか許可されていなかったんだよ。しかし、この制限を守らずに、間宿に旅人を宿泊させたりして、宿場との間にしばしば争いがあつたようだ。

太郎 ボクたちが本陣と呼ぶのは略称だったんですね。

博士 そのとおり。

太郎 ところで、その立場本陣について話してもらえませんか。

博士 岩淵村には、富士川の渡船があつたよね。

太郎 はい。江戸幕府によって、渡船が許されていました。

博士 諸大名の参勤交代のように、多人数の通行の場合は、渡船の準備に時間を要するために、一時休憩する施設が必要だったんだ。そのため施設が立場本陣なんだよ。

太郎 宿場にはどんな施設があつたんですか？

博士 宿場には幕府の要人や諸大名などの武家の宿泊施設として本陣や脇本陣があつたし、一般庶民のための旅籠があつたんだ。

太郎 ボクたちのまちにも上町に本陣がありますね。

博士 その本陣は、宿場の本陣と区別されてるんだよ。

太郎 立場本陣は、何軒あつたんですか？

博士 斎藤縫左衛門家・常盤弥兵衛家・斎藤徳右衛門家の三軒の立場本陣のほか、望月彦右衛門家や藤田藤右衛門家があつたらしい。

太郎 知っている名前があるなあ。

博士 たしか前の三家は渡船名主ですね。

博士 そのとおり。地方名主と渡船名主を兼ねていたんだよ。

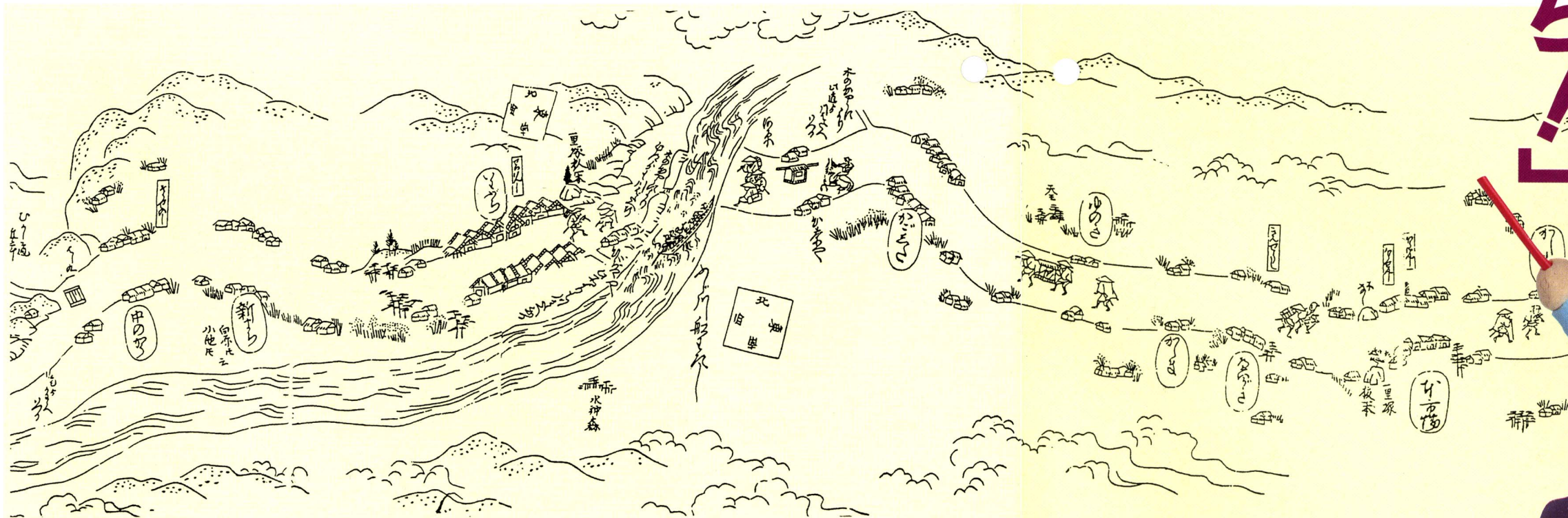
太郎 すごいなあ。



■立場本陣（上町・常盤家）



■屈曲を組せたかぎの手（上町）



とうかいどうぶんげん え ず ひしかわもろのぶ
■東海道分間絵図（菱川師宣筆）



くりのこもち 「栗の粉餅を食べたい！」

六月十七日、京都から「お茶壺道中」がまちを訪れます。みなさんは、わらべ歌「ずいずいころばし」を知っていますよね。この歌は、宇治でとれた新茶を江戸の將軍に献上するための行列にちなんでいるということです。「トッピンシャン」は、ものものしい行列から家に逃げ込んだ庶民が家の戸を締める音だということです。

「助郷役は大変だったんだネ。」

博士 幕府が、街道の宿場に一定の人馬を常備するという伝馬役を課したということは、さきほど話したね。蒲原宿には、本陣一軒、脇本陣三軒、旅籠四五軒、また、問屋場と呼ばれる馬や人夫の交替などの事務をおこなう場所があったんだ。將軍の朱印状や老中や奉行が発行する証文をもった公用旅行者は、その許可範囲内で無賃で人馬を使用することが許可されていたんだけど、それ以上の超過した人馬数は、幕府が公定した御定賃金を支払わなければならなかったんだよ。これらの公用旅行者



江戸から37里にあたる一里塚（相生町）

博士 幕府が、街道の宿場に一定の人馬を常備するという伝馬役を課したということは、さきほど話したね。蒲原宿には、本陣一軒、脇本陣三軒、旅籠四五軒、また、問屋場と呼ばれる馬や人夫の交替などの事務をおこなう場所があったんだ。將軍の朱印状や老中や奉行が発行する証文をもった公用旅行者は、その許可範囲内で無賃で人馬を使用することが許可されていたんだけど、それ以上の超過した人馬数は、幕府が公定した御定賃金を支払わなければならなかったんだよ。これらの公用旅行者

太郎 ひどいなあ。人馬の負担を助郷役に転嫁するなんて。
博士 蒲原宿の助郷村は、中之郷村、木島村、南松野村、北松野村と、富士郡柚木村、平垣村、松岡村など富士川東岸の二一ヶ村だ。
太郎 かわいそーっ。



東海道の面影を残す赤岩付近（新町本町）

「洪水で家並みと街道が移動？」

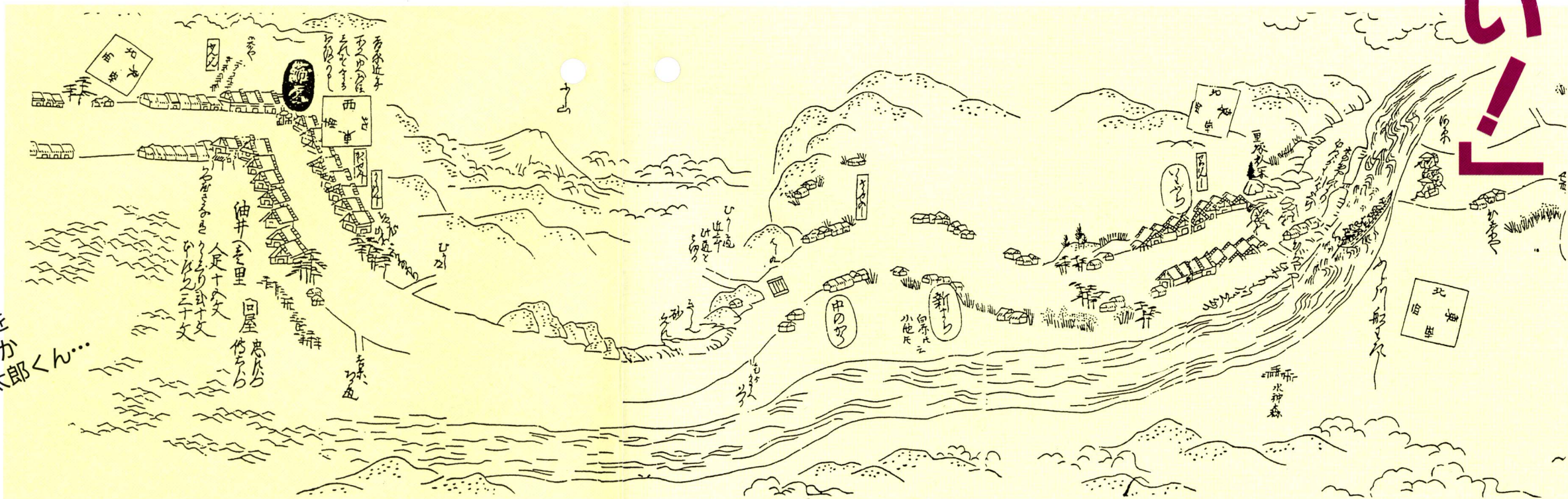
太郎 東海道は、どこを通っていたんですか？
博士 岩淵村が富士川の洪水により幾度も被害にあっていることを、太郎君は知っているよね。
太郎 はい、知っていますが？
博士 東海道が整備されてから約四〇年後の正保年間（一六四四〜一六四七）から、岩淵村はたびたび洪水による被害にあっている。とくに、岩淵村の町並みは富士川に並行して形成されていたので、対岸の岩本村に雁堤ができて、富士川の本流が岩淵村側に寄って、洪水の頻度も増してきたんだ。
太郎 それで？
博士 洪水による被害があるたび

「岩淵村は、繁栄していたんだネ。」

に、街道の付替がおこなわれたんだ。だから、一本の線を結んでここからここまでを東海道が通っていたと言いきることができないんだ。とくに、宝永元年（一七〇四）の水害は甚大で、水防施設、人家、田畑の大半が流失してしま、これに加えて宝永四年（一七〇八）の大地震で人家は残らず崩壊してしまつたんだ。このため、家並みを西の高台に集団移転することになったんだ。これを所替というんだ。このときに大規模な街道の付替もおこなわれたんだ。この所替と付替によって、渡船の上り場から坂を登って高台の上に出て、上町、本町（現上町）、下町（現相生町）を通過して、現在一里塚が立っている中之郷村との村境に至つたんだよ。
太郎 その時代、その時代の東海道があつたんですね。

博士 岩淵村は、渡船を始めた慶長七年（一六〇二）頃は、町並みもなく、民家が所々に散在する程度にすぎなかった。しかし、幕府から宿場同様の町並みに整備することを命ぜられたり、甲州三河岸との通船が開始されたことから物流が盛んにおこなわれるようになり大きな村になったんだよ。
太郎 渡船場と河岸場で栄えたんですね。
博士 また、東海道を往来する旅人や、東海道筋から身延道を通り身延山久遠寺に参詣する旅人たちが利用する飲食店や旅行用具を売る店、土産物を売る店で沿道はに

ぎわっていたんだ。岩淵村の名物は、栗の粉餅、竜王の煙草、雨畑硯、綱、芝川海苔、水晶製品、和紙などだったんだよ。栗の粉餅はあべ川餅よりもおいしかったといわれている。イギリスの外交官アーネスト・サトウが幕末に岩淵村を訪れて、栗の粉餅を食べたということが彼の手記の中にあるよ。それから、綱は渡船に使われていたものの切れはして、道中土産として売られていたようだ。
太郎 これまで、まちの歴史を勉強してきたけれど、昔の人は頑張っていたんですね。ボクたちも負



※ 6月17日、「お茶壺道中」に向けて、「栗の粉餅」が復元されようとしています。



来月号で何を質問するのが
思案中の太郎くん...

まちづくりの 達人 登場



崎山栄子さん(コアスタッフA)

「まず、挨拶から始めましょう。」
 十年後のまちは、と夢物語を
 考えてみました。きっと高齢化
 が進み、老人福祉がもっと必要
 とされるでしょう。また、住宅
 問題や若者の都会へ向く足をひ
 きとめる企業や行事も必要です。
 『私は子供と老人の笑顔が大
 好きです。子供たちには、いつ
 までも汚れなき心でいてほし
 い。老人には、毎日を心の底か
 ら笑顔で過ごせたらうれしいで
 すねと願ってやみません。笑顔
 で挨拶できたら、その日の気分
 は爽快です。行き交う人々が気
 持よく挨拶できたら明るいまち
 ができます。年老いても家に引
 きて、人とかかわりを持って
 毎日を楽しく過ごしてほしいで
 す。緑ときれいな空気が、とても
 のどかなこのまちが、いつも子
 供や老人の笑顔でいっぱいだっ
 たらいいなと思います。』

まちづくりネットワーク まちの話題

自然と 遊ぶ ぼう!



■5本の樺が自然復元へのマイルストーン!

■自然復元を宣言する渡辺英樹さん…

■スタート、さあ頑張ろう!

■やったネ、ゴールイン!

■グルメコーナーには長蛇の列が…

■樺の肥料にはボカシで作った堆肥が…

■天気がよくてよかったネエ…

■さー飛ばゾ!

■野外コンサートにノリノリ!

ボクらの遊び場発見!

富士川健康ウォーク

五月一六日、「第三回富士川健康ウォーク」がおこなわれました。約一五〇〇人の参加者は、ゴールとなった新緑の野田山健康緑地公園で、楽しい一日をすごしました。

新緑の野山を歩くことをつうじて、楽しみながら家族とのふれあいや体力と健康の増進を図ることが健康ウォークの目的です。景色も見えないでセカセカと歩く人、自然を満喫しながらのんびりと歩く人、歩き方にもいろいろありますが、参加者それぞれが自分のペースでその目的を達成したようです。

ゴールとなった野田山には、お弁当をひろげる家族、走りまわる子ども、野草などの自然散策をする人、森林コンサートなどのアトラクションに耳を傾ける人、グルメコーナーで軽食サービスを受ける人、いろんな人が集まったけれど、「みんなが青空の下で、自然という新しい遊び場を発見した」そんな一日でした。



環境

地球にやさしいまちづくり

昨年は、ブラジルで地球サミットが開催され世界的に環境に対する関心が高まりました。これを、プームとして終わらせるのではなく、継続的なものとしなくてはいけません。

そのひとつとして、六月一日から始まった「環境月間」があります。

この月間の始まりは、一九七二年六月五日から二週間ストックホルムで開催された国連人間環

境会議で、日本代表が、この会議の開催を記念して毎年六月五日からの一週間を「世界環境週間」とすることを提唱し、これを受け「世界環境デー」(六月五日)が定められました。世界各国では、この日に、環境問題の重要性を認識し、行動の契機とするための諸行事をおこなっています。

我が国では、この日を初日として「環境週間」(昭和四八年〜平成二年度)を設け、また平成三年度

からは六月を「環境月間」とし、環境問題に対する国民の責任と事務の自覚を即するとともに、将来に向かってよりよい環境を創出するための努力と決意を新たにする契機とするため、各種催しなどを全国的に実施してきました。

今年のテーマは「地球はもったなくよくなるはず。」です。私たちも地球(自然)の恩恵を受けている一人として、もう一度環境を

考え、自分のできることを実践して、地球と長くつきあっているように。

【今月の実践行動】
使い捨て商品の使用を控え、なるべく詰め替えやリサイクルできるものを購入する。



円 申込締切/6月末日 募
集人員/100名 申込先/
静岡県日中友好協会 静岡市
鷹匠1-14-5 増伸ビル
(054)255-5695

『不動産取得税』のお知らせ

平成4年に家を建築(新築・増築・改築)した方には、県税の不動産取得税を納めていただくこととなります。

納税通知書は6月15日に発送します。納期限は6月30日です。

問合せ/静岡財務事務所
(054)286-9170

6月は「男女雇用機会均等月間」です。

『会社』にトライ、会社もトライ、応援団は均等法

企業において、女子の雇用管理改善を促し、また女子の職業能力の開発と意識の向上を図り、雇用における男女の均等な取扱いが実現されることを目的としています。

相談窓口/静岡婦人少年室
(054)253-310

福祉

八ご隠居、いいお天気ですねえ。
八ご隠居、なにを寝呆けたことをいつてい
るんですか。八つあん。こんな梅雨空でい
いお天気のはずがありませんよ。ははあ
、察するに何か頼みごとでもあるのかな。
八ご隠居にあつちや、かなわねえや。
実は、ちよいと金子を都合していただき
てえと思ひやして。
八ご隠居、えっ!つい先日、手間賃を親方
からいただいたんじゃないんですか。
熊 八つあんは、計画的じゃないからな

高 齢 者 保 健 福 祉 計 画

あ。計画といえば、今年、まちでは高齢者保健福祉計画とやらをつくっているって聞
いてますよ、ご隠居。
八ご隠居、そうじゃ。これから先の保健対
策や福祉対策を量も質も充実させて、保
健と福祉がほんとうに連携して高齢化社
会を乗り切っていくこととするための計画
づくりじゃと聞いておるが。
八へえ、それができりや、あつしの生活
も万々歳てえことだ。
熊 違うぜ八つあん。
八何が違うんでえ。
熊 計画がありさえすればいいってもん
じゃないよ。計画なんて実行しなけりや、
いつまでたってもおんなじサ。
八ご隠居、そこです。みんなが知恵を出
し合って、実行できる計画を作る。思いつ
きで何でも飛びついでやあ、せつかくの
計画も台無しってわけだ。
八あつしも計画ってもんをつくってみ
ますかねえ。

情報便

お知らせ
富士川町役場
☎81-1111

『役場職員採用試験』実施

■大学・短大卒程度
第1次試験/8月1日(日) 対
象/①大卒 昭和42年4月2
日〜47年4月1日生 ②短大
卒 昭和44年4月2日〜49年
4月1日生 場所/未定 試
験方法/マークシート方式
試験の種類/①教養試験(一
般知識及び知能について択一
式による筆記試験) ②専門
試験(職種に応じた専門的知
識及び技術などについて択一

『町政を語る集い』開催

みなさんの提案や提言を、まちづくりに反映していくために、6月末から10月まで各

地区で、『町政を語る集い』が
おこなわれます。たくさん
みなさんの参加をお待ちして
います。

6月28日	大北町
29日	俣下町
30日	清水町
7月12日	富士松野
13日	八幡町
14日	中野台一・二
19日	かぎあな
20日	富士見町
21日	南町一
26日	南町二
27日	木島
28日	小山
8月23日	室野
24日	日の出町
25日	東町一・二
9月6日	幸町
7日	本通三・四
8日	本通一
13日	大楽窪
14日	小池
28日	宮町
29日	四十九町
10月5日	新町・新町本町
6日	川坂・堺町
7日	旭町
12日	坂下

『青少年友好使節団』募集

訪問都市/中国(北京・西安)
訪問期間/8月20日〜26日
参加資格/小学生・中学生・
高校生・大学生の心身ともに
健康で団体行動のとれる者
※4年生以下は保護者同伴
引率指導/静岡県日中友好協
会・教職員が引率と生活指導・
安全管理をはかり、社会教育
的旅行を計画
旅行代金/①小学生20万8千
円 ②中・高・大学生24万8千

6月の健康テレホンサービス
☎054-282-1717

月	サラリーマンのうつ病
火	骨髄移植
水	事故で前歯が抜けたら
木	肩こり
金	卵巣ガン
土	
日	

問合せ/富士川町総務課
(054)1111

短歌

眼を射る深きくれない見し後を
繁縷微かな花にやすらふ 山口 晴夫
海に生き歌を寄り抱の先生を
一世を偲び涙出でくる 桐谷 静子
杖つける我わ追ひ越しゆかむとして
見知らぬ処女会釈をしたり 佐藤 ちよ
見の限り咲き満つる桃花に包まれて
我はたまゆら「桃花源記」のなか 佐野いそ江
花盛る桃の木のもと敷物して
迎え呉れたり久本寺住職 塩川 恒子
清水寺人混みの中に我は見つ
外国青年僧に布施するを 清 芳枝
五月一日時ならぬ寒さに出でて来て
新芽不揃な茶を摘みてゆく 角替千鶴子
腎孟炎に良しとドクダミの煎じしを
持ちくれしかば温かきを飲みぬ 土橋 節子
牛乳が温まりましたと電子レンジに
朝あしたを我は呼ばるる 中川しな子
供出米割当て多きを不満とする
在りし日の母の拙き文書なり 長橋 安子
ときじくに降りくる春の雪寒く
「雷鳥」に乗り京都に向ふ 長谷川ゆり子
健やかなわが五十年を予ら集いて
祝いくれたり春の一夜に 深沢千代子
医師になるまでは故郷に戻らぬと
野口英世の文字薄き書簡 深沢 幸江
乾きたる土を濡らせるこの雨に
挿しし菊苗生き生きと立つ 藤沼 満
通過待つ我らの電車横揺れして
急行電車須臾に行きたり 村山 越子

建造物

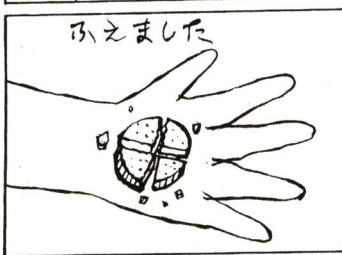


町指定文化財第3号
富士川町地方歴史民俗資料館

富士川町地方歴史民俗資料館は南松野の桑木野にあった稲葉家を、昭和四七年に現在の場所に移築復元したものです。

この稲葉家は一八世紀中頃の建築と推定され、建坪二六坪、間口六・五間、奥行四間、田の字型の間取りで八畳が四間、構造や外観ともに富士川下流域の農家の典型的な姿を残しています。問合先 富士川町教育委員会 (☎01111)

星の子 261. 太田利三



4月21日

5月20日届出分

(敬称略)

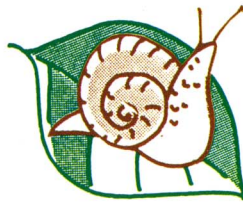
すこやかに

区名	氏名	保護者	続柄
宮町	山本 溪太	一也	長男
宮町	山田 佳代	高久	2女
幸町	芦川 萌	正直	長女
南町二	小林 美沙	達也	長女
俣下町	深澤 公嗣	芳宏	2男

まちへの寄付

4月21日～5月20日 (敬称略)

- ◆社会福祉事業へ 山本正三 50,000円
- ◆老人福祉事業へ 稲葉 豊 50,000円
- ◆総合体育施設整備事業へ 高岡公男 100,000円



かなしみ

区名	氏名	年齢
小山	太田 ぶん	89
坂下	長谷川 寿男	40
新町	古木 さと	86
新町本町	森中 鉄雄	81
南町一	川崎 寿美 亥	78
清水町	高岡 孝	18
中野台二	増井 正美	60

お母さんの知恵袋

ラップの

こんな使い方

■雨降りの日、足先に！

雨の日、よそのお宅に何うときに靴から雨がしみこんでいたら気になりますよネ。かといってレインシューズでは何んとなく気が引けるといふときには、足のつま先にラップを軽く巻きます。ただ靴を脱ぐとき、ラップが見えないように気をつけて！

■調理中に指を気っても

あわてずに応急措置を！

包丁で指を切ったり、おろし金でうっかり指までなんて経験は、一度ならずあるのではないのでしょうか。傷口を消毒して絆創膏を巻いて料理を続けてはいませんか。料理は水仕事ですから、こんなときには、ラップを二重に巻いて輪ゴムでしっかりとめれば、傷口に水がしみることありませんし、絆創膏もはがれずにすみます。

婦人会

望月